

# 2023年度 第2学期 客員教員 によるゼミ開講のお知らせ

群馬学習センター所属の在学生在がより深く学習を進めるとともに、学生同士やセンター教員との交流を深めるなど、学生の修学環境の充実を図るため、下記のとおり教員によるゼミを開講いたします。

- 1. 対象者** 群馬学習センター所属の全在学生（休学者不可）及び名誉学生。  
原則として、同一ゼミ日程のすべてを受講可能な方に限ります。
- 2. 申込方法** **10月27日（金）9：30～電話受付のみ**、定員になるまで受付します。  
学生本人（代理不可）が、電話で申込んでください。  
**電話：027-230-1085**
- 3. 受講料** 無料
- 4. テキスト** テキスト指定のゼミは、各自が必ず書店等でお買い求めください。  
欠席した日の配布資料について、後日配布の対応は行いません。
- 5. その他** 駐車スペースには限りがありますので、公共交通機関、市営駐車場等を利用してください。

| 担当  | 定員 | 日程（講師都合等で変更することがあります） |              |              |              |              |             |                         |  |
|-----|----|-----------------------|--------------|--------------|--------------|--------------|-------------|-------------------------|--|
| 藤本  | 32 | 13:30<br>～<br>15:00   | 11/8<br>(水)  | 11/15<br>(水) | 11/22<br>(水) | 11/29<br>(水) | 12/6<br>(水) | 12/13<br>(水)            |  |
| 板橋  | 32 | 10:30<br>～<br>12:00   | 11/8<br>(水)  | 11/15<br>(水) | 11/22<br>(水) | 11/29<br>(水) | 12/6<br>(水) | 12/13<br>(水)<br>※10～12時 |  |
| 黒岩  | 22 | 13:30<br>～<br>16:30   | 2/24<br>(土)  | 2/25<br>(日)  |              |              |             |                         |  |
| 飯島  | 10 | 13:30<br>～<br>15:00   | 11/1<br>(水)  | 11/8<br>(水)  | 11/15<br>(水) | 11/29<br>(水) |             |                         |  |
| 小野里 | 16 | 13:30<br>～<br>15:00   | 11/10<br>(金) | 12/8<br>(金)  | 1/12<br>(金)  | 2/9<br>(金)   | 3/8<br>(金)  |                         |  |

## 「源氏物語」の学びのために―「紫式部日記」考察―

藤本 宗利（放送大学客員教授・群馬大学名誉教授 専門分野：平安時代の文学）

千年も前から、多くの読者の心を魅了してやまなかった『源氏物語』。今回は作品の創作という視点から、作者の人間性を色濃く反映する『紫式部日記』を読んでいきます。作品の創作環境であった一条朝の後宮を舞台に、主人である藤原道長・彰子中宮や、同僚の女房たちと作者との関わりを読み取ることで、『源氏物語』を生み出した基盤を考察します。また、中世の歌人たちに『紫式部日記』がどのように享受されていたのかを見取することで、『源氏』の人気の高さを解き明かそうという試みです。

テキスト：必要な資料をゼミで配付します。

※新型コロナウイルス感染状況悪化の際の対応：ZoomによるWeb開講

## 民俗学のエッセンス

板橋 春夫（放送大学客員教授 専門分野：民俗学）

日本民俗学は、柳田國男がヨーロッパのフォークロアに学びながら、江戸期以降に発達した国学の伝統を融合させて体系化したものとされています。今回は民俗学史にも触れながら、日本民俗学の体系化を目指したときのテーマを解説していきます。群馬を含めた身近な事例をもとにしながら、民俗学のエッセンスを解説していきます。テキストは特に使いません。毎回講義資料を用意しますので、気軽にご参加ください。

テキスト：必要な資料をゼミで配付します。

※新型コロナウイルス感染状況悪化の際の対応：閉講

## 子どもの心身の健康問題とその支援について考える

黒岩 初美（放送大学客員准教授 専門分野：学校保健・学校心理学・スクールカウンセリング）

日本の少子化の現象は深刻です。大切な子どもたちが安心安全な環境のもとで、健やかに成長していくことを誰もが願っています。しかし、子どもを取り巻く現代社会は、温暖化による環境の変化とポストコロナやウクライナ戦争等の社会問題により、恐怖や不安が増す一方です。これらは子ども達の心身の健康にも大きな影響を及ぼしています。とりわけ、いじめ、虐待、貧困、発達障害やアレルギー等の健康問題、不登校等の問題は、複雑な要因で対応も深刻です。子どもと保護者の抱える問題の解決に向けて、的確なアセスメントによる支援の実践を、視聴覚教材の視聴と事例検討を通して受講生の皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。

テキスト：必要な資料をゼミで配付します。

参考図書：「こころの発達と精神分析」 木部 則雄 金剛出版 2019

：「面白いほどよくわかる！臨床心理学」 下山晴彦 西東社 2020

※新型コロナウイルス感染状況悪化の際の対応：ZoomによるWeb開講

## 英語学習につまずきやすい学習者への支援：理論と実践

飯島 睦美（放送大学客員教授・群馬大学教授 専門分野：英語教育学）

英語を苦手とする高校生にその理由を聞くと、彼らのほとんどが「英単語が覚えられないから」と回答し、さらに「自分には記憶力がないから無理」と諦めてしまっていました。本当にそうでしょうか？実は、英単語が覚えられないのは記憶力の問題だけではありません。英語学習上のつまずきにつながりやすい特性があるのです。「繰り返して練習しなさい」「何度も書いて覚えなさい」と指導するだけでは解決しない問題があります。本ゼミでは、こういった学習者要因を理論的に議論し、その後適切な指導方法、学習方法を具体的に考えます。

テキスト：必要な資料をゼミで配付します。

※新型コロナウイルス感染状況悪化の際の対応：閉講

裏面に続く

## The New York Times の見出しを読む

小野里 好邦 (放送大学群馬学習センター前所長 専門分野：情報通信工学)

New York Times を題材としてゼミを開講します。New York Times は、日常生活に結びついた内容で、ゼミ参加者が具体的にイメージでき、英語と日本語が頭の中で融合しやすくなります。すると、世の中の出来事を国際的に様々な角度から見られるようになります。New York Times を読みながら英語を学ぶことで、ことばの世界が広がっていくことを楽しんでいきます。

参加者各自のこれまでの社会経験・英語経験を踏まえて、New York Times の見出し (Headline) を読み、ご自分なりの世界を構築し、その一端を3分間スピーチとして発表します。New York Times に記載されている記事からご自分なりのお考え (Bottomline) をきっかけにして話の輪を広げていきます。

New York Times の見出しを読んで、情報の伝え方、コミュニケーションのとり方について考えてみませんか。

テキスト：必要な資料をゼミで配付します。

※新型コロナウイルス感染状況悪化の際の対応：閉講